

広島県避難所開設・運営訓練手引き
「運営に必要な各種活動の理解」教材

ボランティアの 受入れ・調整

**ボランティア活動について
どんなことをしてもらいますか？**

- 参加者の皆さんに、「ボランティア活動について、どんなことをしてもら
うか」、問いかけましょう。
- 2～3人ほど、意見を聞いてみましょう。
- 理由も聞いてみましょう。

※ご存じない人が多いので、知らなくても恥ずかしくないことを伝え、フォ
ローしましょう。

子どもの世話



出典：熊本災害デジタルアーカイブ／提供者：西原村

■具体的な取組み

- ボランティアニーズの把握
- ボランティアの依頼と受け入れ
- 活動への立ち合い

■対応のポイント

- 避難所運営組織で、**どんなボランティアが必要かを把握**
- 避難者から、**どんなボランティアが必要かを聞きとる**
- 市町職員を通じて、ボランティアの派遣を依頼
- 来援したボランティアと、活動内容や人の割り振りについて相談・調整

【説明内容】

- 避難所運営では、**避難所運営組織だけでは、どうしても人手が足りない**場合があります。
- また、**避難者が生活をつなぎ、また再建をするにあたって、人手が必要になる**場合があります。
- そうした場合に、ボランティアを適切に活用していくことが必要になります。
- そこで、まずは**どういうボランティアが必要かを把握し、ボランティアニーズをとりまとめます。**
- 次に、市町職員を通じて、市町災害対策本部に連絡し、ボランティアの派遣を依頼します。
- ボランティアが来援したら、活動内容ごとに振り分け、人数の調整をします。
- また、ボランティアの活動場所を示す地図を渡すなど、ボランティア活動が円滑に進むように配慮します。

ボランティアニーズの把握 について

- まず「ボランティアニーズの把握」についての説明

⑦ボランティア班がすること

ボランティア班は避難所運営において、「避難所内のボランティアニーズの把握」「ボランティアの依頼と調整」を行うことが主要な役割になります。

そのために、具体的には下記3つの業務を実施します。

1. ボランティアニーズの把握

2. ボランティアの依頼と受入れ

3. 活動への立ち会い

定期的な班会議を行うなどして、ボランティア班内での情報共有をしっかりと行いましょう！

広島県『避難所開設・運営マニュアル』
(標準版) p78

1. ボランティアニーズの把握

【説明内容】

- ここでは、広島県『避難所開設・運営マニュアル』（標準版）のp78の内容、

1. ボランティアニーズの把握

- について、説明します。

ボランティアニーズの把握

6

- 避難所運営組織内のボランティアニーズは、組織内で確認し、共有する
- 避難者からのボランティアニーズは、相談窓口で把握する

■ボランティア活動例

ボランティア ニーズ例 (避難所運営)	● 物資の仕分け・整理	ボランティア ニーズ例 (避難者)	● 瓦礫の撤去作業
	● 話し相手		● 水害時の泥のかき出し
	● こどもの遊び相手・託児代行		● 家の片付け
	● 交流機会づくり、イベント開催		● 話し相手
	● サロン運営		● こどもの遊び相手・託児代行
	● 暮らしに必要な情報の提供		● 交流機会づくり、イベント開催
	● ペットの世話		● サロン運営
	● 配食サービス		● 暮らしに必要な情報の提供
	● 炊き出し		● お買い物や家事手伝い
	● 物資の配布		● ペットの世話
● 家庭教師	● 配食サービス		
			● 家庭教師
			● 仮設住宅での引っ越しの手伝い
			● 畑や田んぼの清掃

参考：内閣府「地域の『受援力』を高めるために」

【説明内容】

- ボランティアニーズには、大きく2つあり、避難所運営におけるボランティアニーズと、避難者が暮らしをつないでいくための、避難者の生活に関するボランティアニーズがあります。
- 避難所運営でのボランティアニーズについては、避難所運営組織の各班、各担当者に、人手がほしいこと、専門家が必要なことなど、ボランティアのニーズを確認していきます。
- 避難者の生活に関するボランティアニーズについては、避難者管理の担当班や担当者と協力して、避難所の受付に設置している相談窓口を通じて把握します。
- また、情報活動の担当班や担当者と協力して、ボランティアニーズの申し出をしてもらうよう、掲示板で呼びかけもしていきます。

※「職員派遣依頼書」を示しながら説明する。

- こうして収集した、避難所運営におけるボランティアニーズと、避難者からのボランティアニーズを、「職員派遣依頼書」に、どういうボランティアが、何人、どれぐらいの期間必要か、とりまとめます。

ボランティアの依頼と調整 について

- 避難所の「ボランティアの依頼と調整」の説明

⑦ボランティア班がすること

ボランティア班は避難所運営において、「避難所内のボランティアニーズの把握」「ボランティアの依頼と調整」を行うことが主要な役割になります。
そのために、具体的には下記3つの業務を実施します。

1. ボランティアニーズの把握
2. ボランティアの依頼と受入れ
3. 活動への立ち合い

定期的な班会議を行うなどして、ボランティア班内での情報共有をしっかりと行いましょう！

広島県『避難所開設・運営マニュアル』
(標準版) p79～81

2. ボランティアの依頼と受入れ
3. 活動への立ち合い

【説明内容】

- ここでは、広島県『避難所開設・運営マニュアル』（標準版）のp78の内容、

2. ボランティアの依頼と受入れ
3. 活動への立ち合い

- について、説明します。

- 避難所で来援したボランティアの受付を行う
- 活動ごとにグループに分かれてもらい、リーダーを決めてもらう
- 連絡等がある場合は、避難所とグループリーダーで連絡をとりあう



出典：東京都社会福祉協議会「東京ボランティア・市民活動センターHP」

【説明内容】

- ボランティアのとりまとめをしたら、市町災害対策本部を通じて、ボランティアの派遣を依頼します。
- ボランティアが来援したら、受付を行います。
※ボランティアの受付票を示しながら説明します。
- ボランティアのための受付を設置し、受付票に記入してもらい、活動内容や人の割り振りについて相談・調整します。
- 割り振りをしたら、それぞれにリーダーを決めてもらい、活動中は、リーダーを通じて連絡をとりあうようにします。
- ボランティアの行先の地図を渡すなど、ボランティア活動が円滑に進むよう、配慮します。
- そして、ボランティア活動に立ち合い、活動状況をメモなどに記録し、避難者の管理担当班や担当者に報告します。



【質疑応答】

- 市町職員や施設管理者なども含め、応答できる人が説明します。